

「安心と希望の医療確保ビジョン」第2回会議

日時：平成20年1月29日（火）18:30～20:00

場所：厚生労働省 18階 専用第22会議室

議 事 次 第

1. 開会

2. 議題

歴史的・文化的・国際的位置付けも踏まえた我が国の医療のあり方

3. 閉会

【配付資料】

資料1：医師及び看護師に関する各国の状況

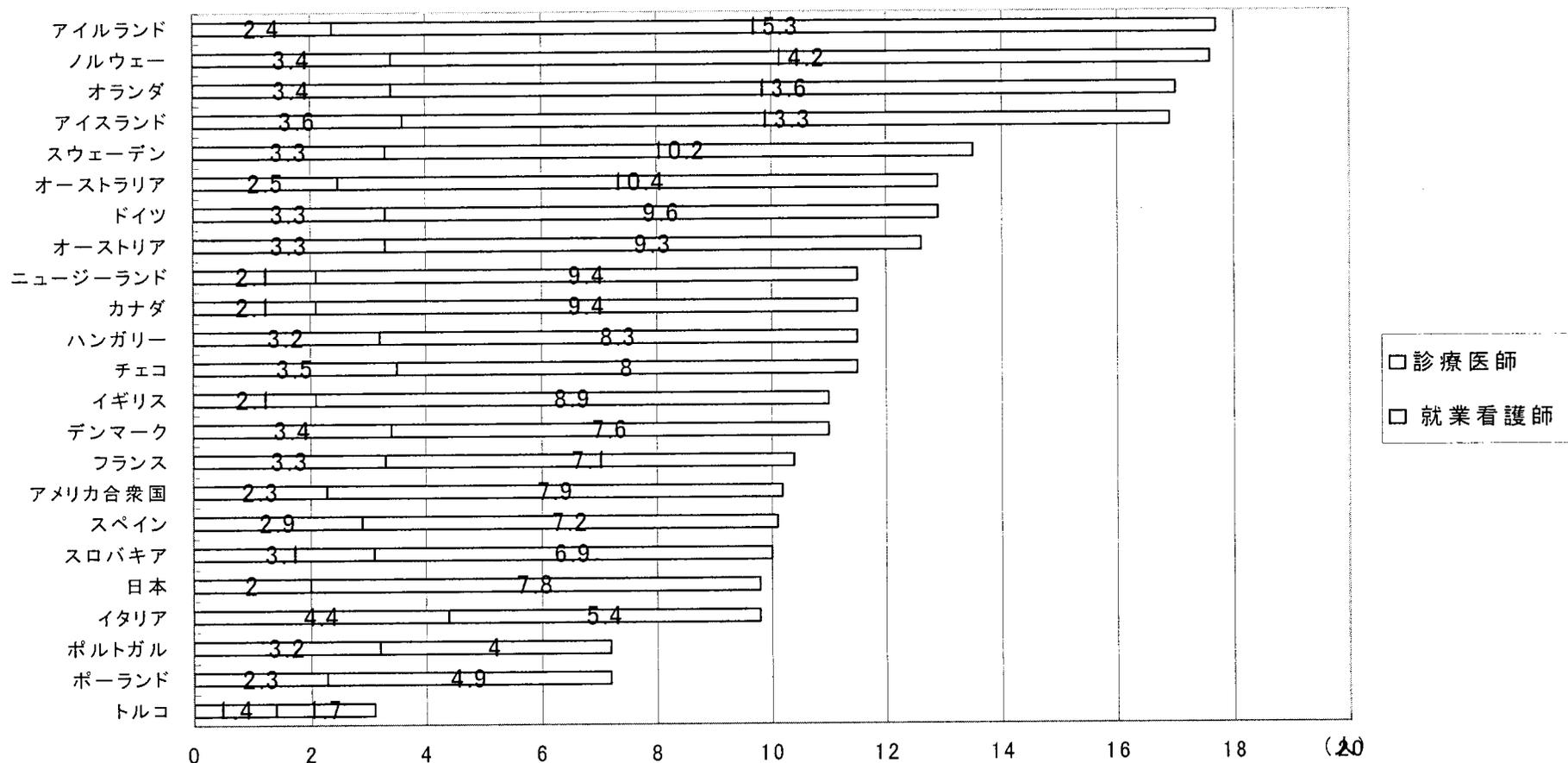
資料2：OECD諸国の種類別の病床数

医師及び看護師に関する各国の状況

OECD諸国の人口1000人当たりの診療医師数及び就業看護師数

日本は他国と比べ人口1000人当たりの診療医師数は少ないが、看護師まで含めた数ではその差は減っている。

OECD諸国の人口1000人当たりの診療医師数及び就業看護師数(2002)



出典: OECD Health Data(2007)

注1) 診療医師: 患者に直接サービスを提供している医師。(卒業していない学生、歯科医師及び歯科外科医師、行政機関、研究機関等直接患者と接触しない職場で働いている医師、雇用されていない医師、退職した医師を除く。)

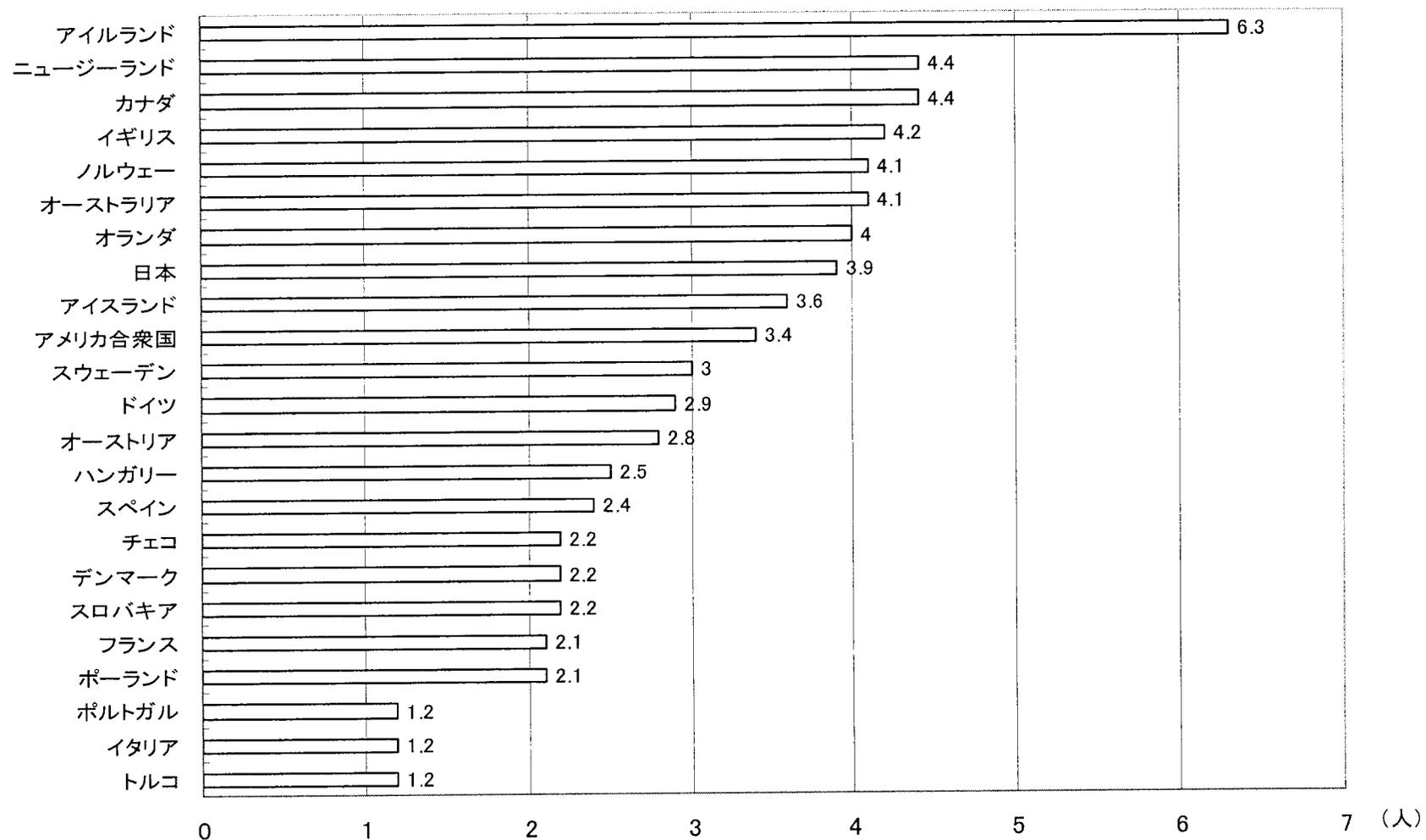
注2) 就業看護師: 基本的な看護教育課程を修了し、自身の国からあらゆる場面で看護業務を行う資格を与えられ、承認を得ており、患者に直接サービスを提供する看護師。

注3) 国によってはOECDの定義に含まれない者まで含んでいるため、診療医師数、就業看護師数の厳密な比較はできない。

OECD諸国の診療医師1人当たりの就業看護師数

日本の診療医師1人当たりの就業看護師数はOECD諸国の中で中位である。

診療医師1人当たりの就業看護師数(2002)



看護師の業務に関するアメリカと日本との比較

	アメリカ		日本
	基本資格	Advanced/Specialist資格	特段の区別なし
カルフォルニア州	<p>○ registered nurse (licensed practical nurse, licensed vocational nurse) 薬物・器材の分配 (免許内科医または外科医の指図に基づく)</p>	<p>○ nurse practitioner 薬物・器材の供給または指図 (内科医と外科医の監督の下で行う。標準化手順またはプロトコールに従う。)</p>	<p>・診療の補助 (医師の指示に基づく)</p> <p>・療養上の世話 (看護師が行う独自の行為)</p>
ミネソタ州		<p>○ certified clinical nurse specialist ・精神メンタルヘルス看護 精神障害、行為障害、薬物副作用の治療薬の処方と管理 (州の看護協会等により規定されたスタンダードに基づく。精神科医または他の医師との契約書を持つ。精神メンタルヘルス看護CNS(certified clinical nurse specialist)としての業務の範囲内で、契約書の範囲内)</p> <p>・その他 薬物と治療器具の処方と管理 (州の看護協会等により規定されたスタンダードに基づく。医師との契約書を持つ。CNSとしての業務内で、契約書の範囲内。)</p> <p>○ certified nurse practitioner, certified registered nurse anesthetist 薬物と治療器具の処方と管理 (州の看護協会等により規定されたスタンダードに基づく。医師との契約書を持つ。CNP(certified nurse practitioner)/CRNA(certified registered nurse anesthetist)としての業務内で、契約書の範囲内。)</p>	
ニューヨーク州		<p>○ nurse practitioner ・病気や身体状況の診断及び治療手段の実施 ・薬物、器材、免疫剤の処方 ・非患者特定の免疫管理及びアナフィラキシーの緊急治療に関するRN(registered nurse)に対する処方計画の処方と指図 (業務契約書及び業務プロトコールに従う)</p>	

看護師の業務に関するフランスと日本との比較

	フランス		日本
	一般看護師	Advanced/Specialist	
○外科的・侵襲的処置			
創処置/デブリメント	B	スペシャリストとしての看護師には小児看護師、麻酔看護師、手術室看護師がある。	B
静脈血採取	B	麻酔専門看護師は、 ①麻酔専門医師が至近距離におり ②麻酔医が診察を行い ③プロトコールを作成し ④指示した後 に患者に以下の行為ができる。 1)全身麻酔 2)部分麻酔および麻酔医により装置（硬膜外カテーテルなど）が設置されたあとの麻酔薬剤の再注入 3)手術直後の覚醒 4)麻酔医の主導によるプロトコールの実践 5)手術直後における覚醒室での経過観察	B
動脈血採取	B		C
○注射			
中心静脈路(血管)確保	B		C
静脈注射(ワンショット)	B		B
その他の注射(筋肉、皮下、皮内アレルギーテスト)	B		B
○基本的看護ケア			
保清(入浴、清拭など)	A		A
排泄ケア(浣腸や排便の実施)	A	※1)2)3)は日本では医師の指示があっても看護師はできない行為	B
排泄ケア(膀胱カテーテルの留置や抜去)	A	4)5)は医師の指示で看護師が単独でできる行為	B

注1) A: 看護師が判断・決定し、実施 B: 医師の指示で看護師が単独で実施 C: 看護師は実施しない/できない行為

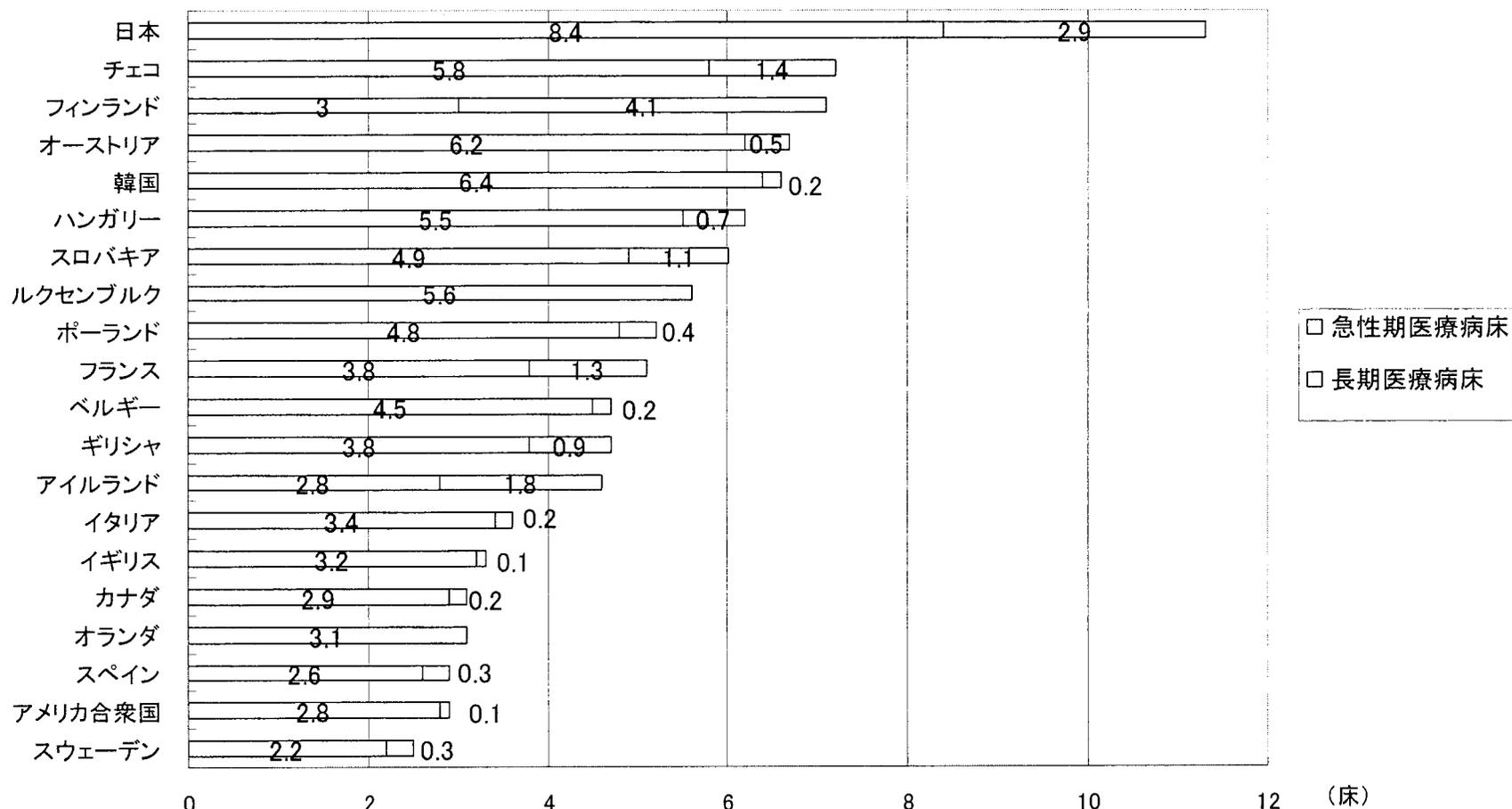
出典: 「諸外国における看護師の業務と役割に関する研究」(厚生労働科学研究 2001年度)

OECD諸国の種類別の病床数

OECD諸国の人口1000人当たりの急性期医療病床数、長期医療病床数

日本は人口1000人当たりの急性期医療病床数と長期医療病床数は、他国と比べてともに多い。

OECD諸国の人口1000人当たりの急性期医療病床数及び長期医療病床数(2004)



出典: OECD Health Data 2007

注1)急性期医療病床:治療に有効なケアを行うための病床(病院内のものに限る。)

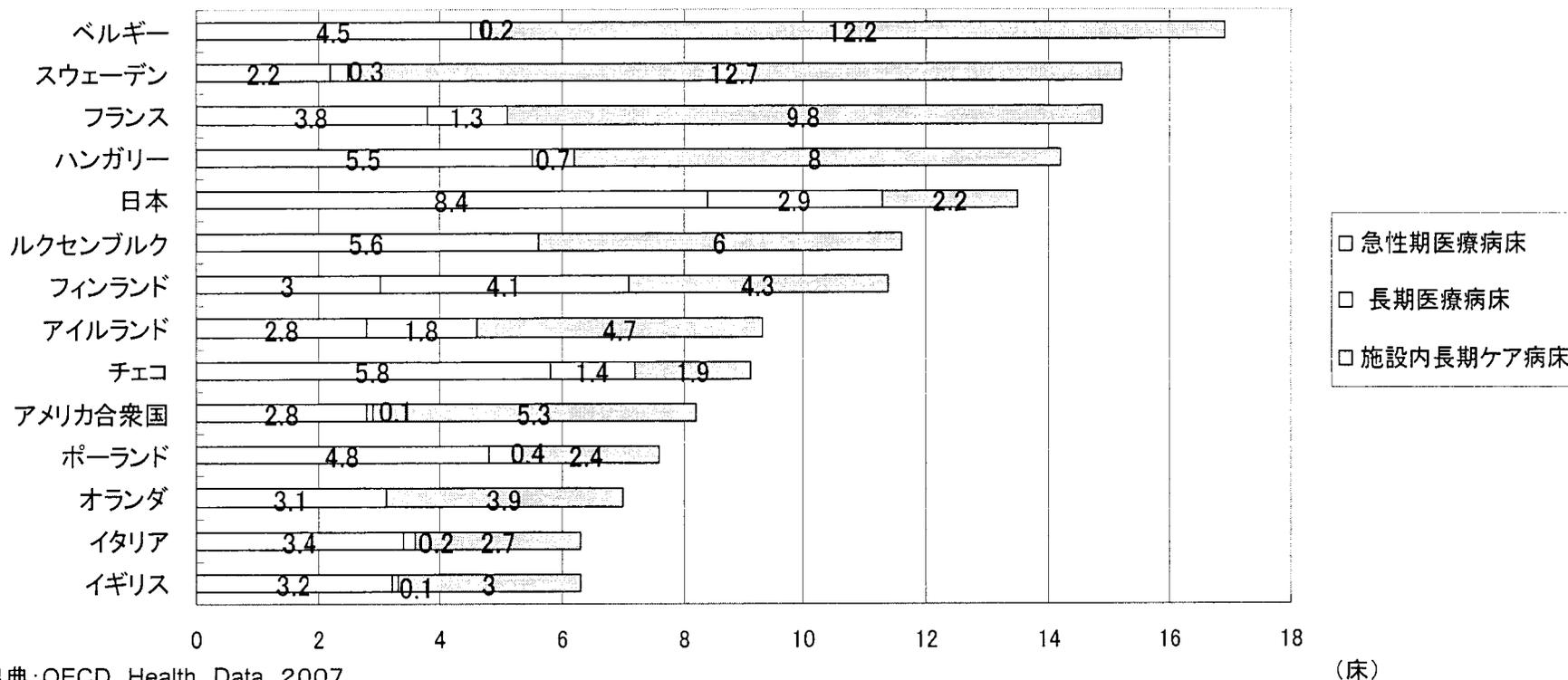
注2)長期医療病床:慢性的な病気やADL(Activities of Daily Living)における自立度の減少のため、長期のケアが必要とされる患者を収容する病床(病院内のものに限る)。

注3)国によりそれぞれの病床に含まれる基準が異なっているため、完全には定義と一致していないものもある。

OECD諸国の人口1000人当たりの急性期医療病床数、長期医療病床数及び施設内長期ケア病床数

日本は、人口1000人当たりの急性期医療病床数と長期医療病床数は他国と比べてともに多いが、施設内長期ケア病床数は少ない。

OECD諸国の人口1000人当たりの急性期医療病床数、長期医療病床数及び施設内長期ケア病床数(2004)



出典: OECD Health Data 2007

注1) 急性期医療病床: 治療に有効なケアを行うための病床(病院に内のものに限る。)

注2) 長期医療病床: 慢性的な病気やADL (Activities of Daily Living)における自立度の減少のため、長期のケアが必要とされる患者を収容する病床(病院内のものに限る)。

注3) 施設内長期ケア病床: 慢性障害及びADLにおける自立度の減少のために継続した健康管理と看護ケアを要する人々のための病床で、入居者の要求に応じて看護、管理または他の種類のケアと組み合わせた入所によるケアを供給する機関の中にあるもの。(日本の場合は老人保健施設内にあるもののみを含む)

注4) 国によりそれぞれの病床に含まれる基準が異なっているため、完全には定義と一致していないものもある。

注5) フランス、イタリアの施設内長期ケア病床数は2003年のもの。